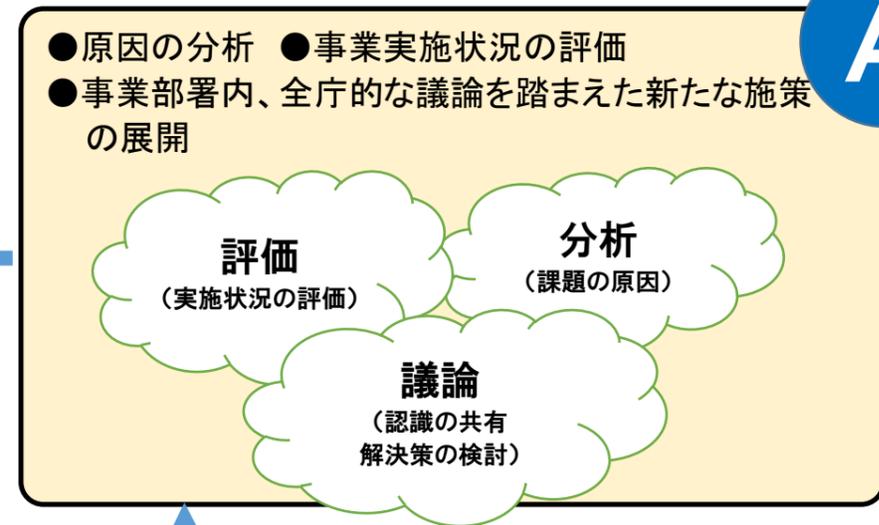
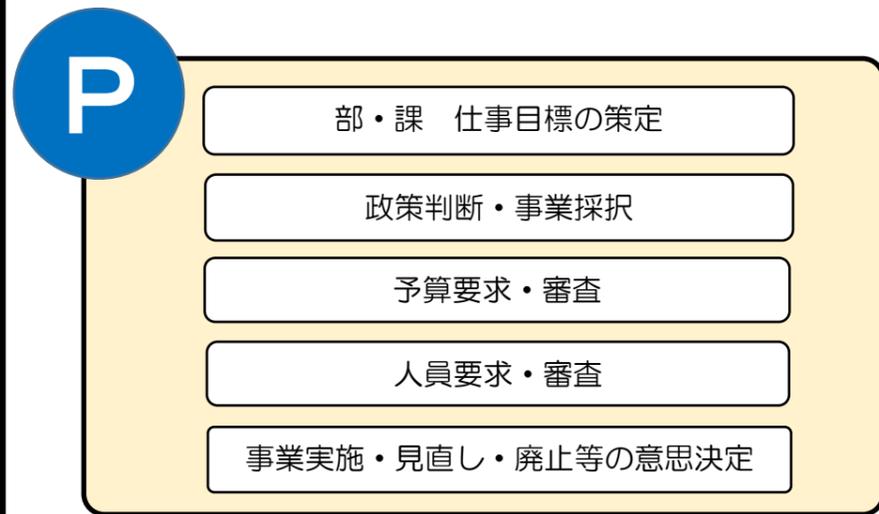


限られた経営資源を効果的に活用し、市民サービスを提供するためには、円滑にPDCAサイクル^{*}を回すことが重要です。市においても、どの程度のコストや人員をかけてどの程度の成果を上げたのかを振り返るとともに、より一層の成果を上げるためにはどうしたら良いのか、または、より効率的な行政運営を行うには何が課題なのかを振り返ることが必要です。

以下の図は、新公会計制度のイメージ（概念）を示しています。

^{*}PDCAサイクルとは、「計画(PLAN)」・「実行(DO)」・「評価(CHECK)」・「改善(ACTION)」という一連の活動を繰り返すこと。

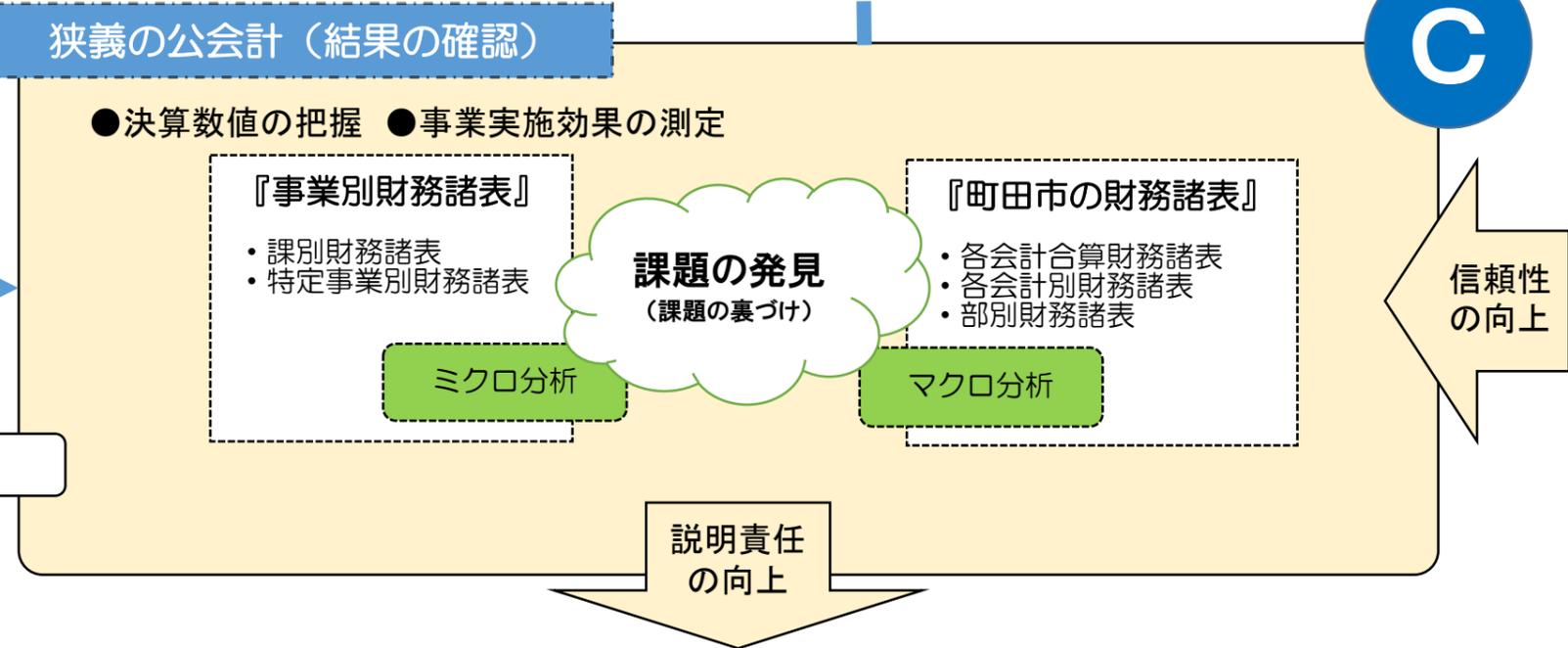
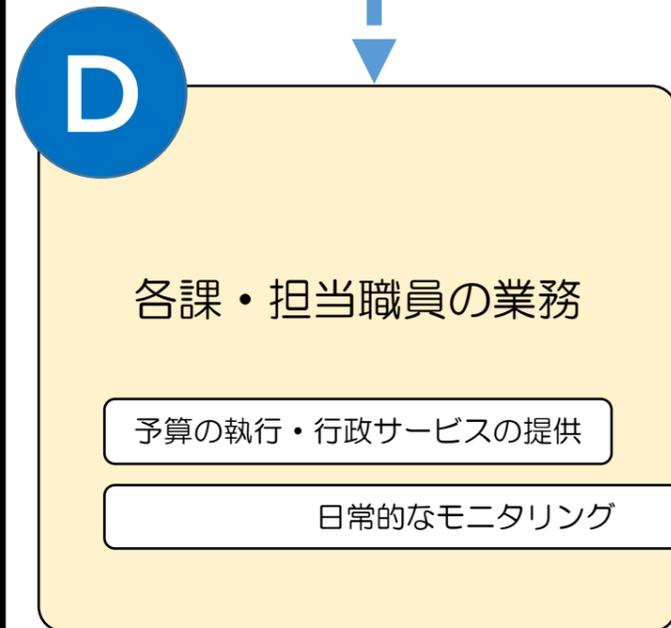
広義の公会計（組織マネジメントへの反映）



今後の課題

反映

狭義の公会計（結果の確認）



監査等でのチェック

これまでの取組

議会・市民への情報提供